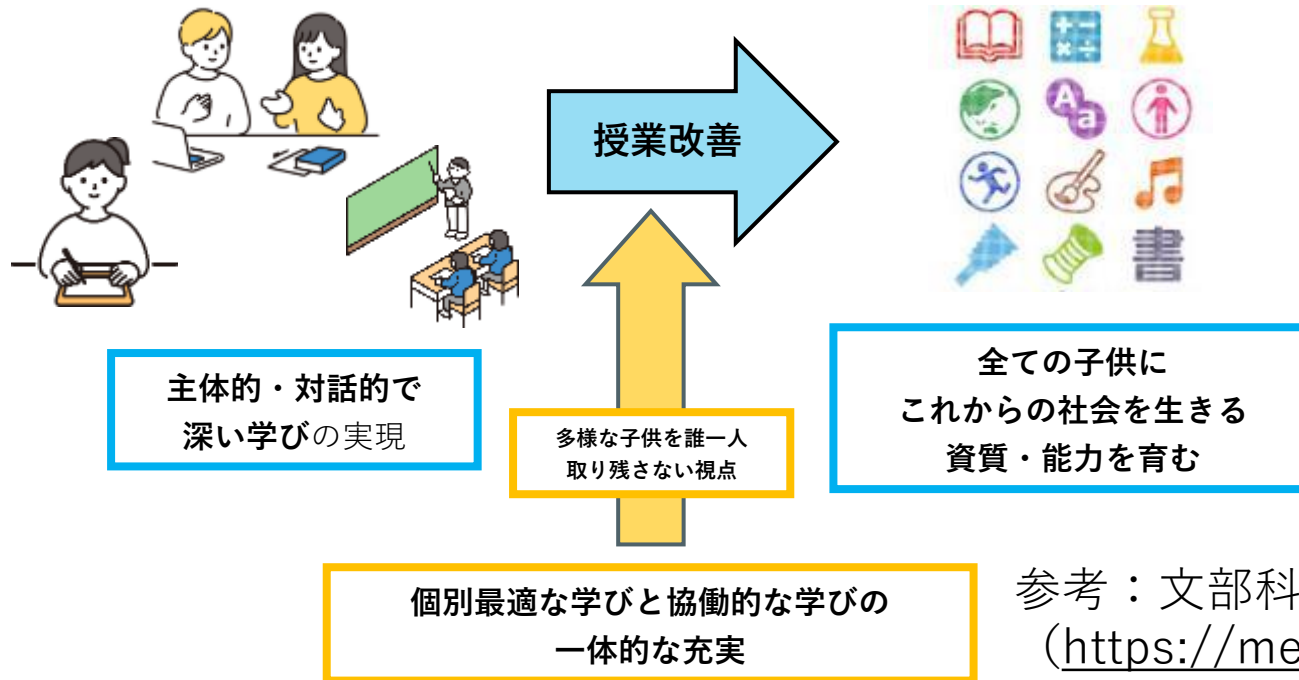


明日からできる！

個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実

【数学】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、
誰一人取り残さない形で、
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



作成：千葉県教育庁東葛飾教育事務所指導室

参考：文部科学省「授業づくりnote」
(<https://mext-curriculum-gov.note.jp/n/nf934cb3fe36d>)

I C T を活用した**反転学習**（知識及び技能の育成）

反転学習とは、学校での**講義と宿題の役割を逆転**させた教育で、授業前に基本的な学習を宿題として行い、授業中に教師が個々の生徒に合わせた指導をしたり、生徒同士が協働して取り組む授業形態である。

<従来の学習>

授業（インプット）



家庭（アウトプット）



評価して終了

<反転学習>

家庭（インプット）



授業（アウトプット）



より深い理解！

①反転学習の流れ（一例）

- ・ 動画作成（PowerPoint等）、問題準備（Forms等） **教師**



- ・ 解説動画の視聴（PowerPoint等）
 - ・ 類題の出題（Forms等）
- 生徒（家庭学習）**



- ・ 振り返り（類題解答の確認等）
 - ・ 学習課題の設定（個人）
 - ・ 学習内容の記録（個人orグループ）
 - ・ まとめ（分ったこと、気付いたこと等）
- 授業**
-
- （個別最適な学び、協働的な学び）**

**反転授業は
節毎に取り入れる等
定期的に行う**

②反転学習のメリットとデメリット

<メリット>

- ・ 事前に学習を行うため、理解が深まりやすい。
- ・ 理解度に応じた学習（個別最適な学び）が可能。
- ・ 自身の課題に気づいたり、新たな発見が生まれやすい。
- ・ 生徒の学習進度を把握しやすい。

など

<デメリット>

- ・ 生徒が事前学習（宿題）を怠る可能性がある。
- ・ 動画視聴や課題配付のネット環境等が必要。
- ・ 授業準備に時間がかかる。

など